

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後子どもクラブびこ			
○保護者評価実施期間	令和8年1月26日		～	令和8年2月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数)	18
○従業者評価実施期間	令和8年1月26日		～	令和8年2月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月2日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地域密着型のため、学校と情報共有や連携が出来ている。	地域密着ができることで、学校と情報共有や連携をしている。 事業所と学校との保育所等訪問に力を入れている。	ライフステージを見据え、成長に合わせたきめ細やかな支援を継続していきたい。
2	同敷地内に3つの事業所がある為、子ども達やスタッフとの交流が盛んな環境にある。	共同の行事を盛んに行っている。 子ども達同士の交流を大切にしている。 緊急事態の際の連携や協力体制を整えている。	地域や環境を生かした連携を行ってきたい。
3	施設外での活動が充実している。	職場見学、バス遠足、夏祭り、クリスマス会、寺子屋など行っている。 個々のニーズに合わせて、スポーツ教室、サッカースクール、音あそびを定期的に行っている。	開かれた施設運営が出来るように、施設内外の活動をバランスよく取り入れていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用希望があっても常に定員を満たしているため、新規契約が難しい。	法人内で移行する児童が毎年一定数いるため、新規の利用契約が受けられない。	見学や相談、情報発信は常に行っていく。
2	地域との連携が難しい。	一部地域住民の方の事業の理解が得られないことなどから、地域と連携した活動はまだ達成できていない。	これからも地域住民の理解を得られるように努力しつつ、実現に向けて模索していく。
3	保護者同士の交流などが少ない。	運動プログラムや、ペアレントプログラム、行事等で一部の保護者同士の交流はあるものの、全体として保護者会などは行っていない。	法人内での勉強会や、保護者同士が交流を持てる場を設けていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後子どもクラブぴこ

公表日 令和8年3月24日

利用児童数

25

回収数

18

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17			1	・建物内に入ったことがありません。	・見学対応をいたしますのでいつでもご連絡ください。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17			1		・外玄関に手すりやスロープを設置しています。 ・過ごしやすい、分かりやすい環境を今後も整えていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17			1		・お子様が安全に快適に過ごせるような空間を作っていきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18				・いつも丁寧にして下さっています。	・今後も精進してまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17			1		・保護者様、お子様のニーズを聞き取り個別支援計画作成を行っています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17			1		・「ご家族さま・お子さまの意向」を伺い、個別支援計画に反映し、事業所での取り組みについて面談の際に説明をしています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	5	1	4		・今後、何らかの形で交流が出来ないか検討していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	1		1		・ご不明な事がありましたらいつでもご相談ください。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	18					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	3		6	・サッカーやクリスマス会などで保護者同士の交流があります。 ・兄弟がいないのでわかりません。	・今後、何らかのイベントを企画したいと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	1				・ご相談がありましたらいつでもご相談ください。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17	1				・ホームページやFacebookにて掲載していますのでご覧ください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	2		1		・契約時に丁寧な説明を心がけていきたいと思います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	2		1		・年2回、地震や火災を想定した避難訓練を実施しています。活動の様子はホームページをご覧ください。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	1				・事故があった場合は、速やかに保護者様へ連絡をする体制を整えています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16	2			・利用日によって喜ぶ姿が見られます。 ・活動の内容によって楽しく過ごす事が出来ていると思います。	・お子様がが楽しめる活動を要望を聞き取り準備していきます
	29	事業所の支援に満足していますか。	18				・大満足です。いつもありがとうございます。	・これから安心してお子様を預けていただけるよう、精進してまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後子どもクラブびこ		令和8年3月24日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・子ども達の利用人数や活動内容に合わせて、個別スペースやオープンスペースを活用し個々に合わせた対応をしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6		・基準人員プラス加算職員常勤加算2名以上配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	・外から玄関までバリアフリーとなっています。玄関に段差がありますが、廊下やトイレなどは車いすでも通れる（使用できる）広さになっています。空間の構造化がしっかり出ています。	・子ども達が活動しやすい、分かりやすい環境を作っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・子ども達が帰った後の掃除、受け入れる前の環境整備を毎日行っています。また、空気清浄機を置き、きれいな空間を保っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・2階にも部屋があり、個別や、集団などで利用できるようになっています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		・その都度ミーティングなどで話し、業務の見直しや改善を行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・モニタリングの面談での聞き取りや、年に1回必ず事業所評価を行い、その結果について職員間で共有しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	・個別の面談を行い、意見を吸い上げ業務改善を行っています。また、毎日のミーティングや全体ミーティング、運営会議で意見を出し合っています。	・今後も意見を吸い上げながら業務改善を行っています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5	・行っていません。	・外部評価は行っていません。今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・外部講師を招いてアンガーマネジメント研修を実施しています。また内部、外部研修の充実を図り職員に周知し研修の参加を促しています。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・HPにて公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		・年2回保護者さんとの面談をし「ご本人とご家族の希望」を聞き取りをし計画に反映させています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・個別支援計画会議で、職員が共通理解の下、意見を交換し計画作成を行っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・支援計画を元に全員で必ず確認しています。また、事務所内に個別支援計画書の一覧を掲示し支援に入る前に共有をしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	・自立支援協議会で作成したアセスメントを使用し、日々の行動観察を行っています。	・標準化されたツールを使い、スタッフで共有しながら支援をしています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・5つの領域、家族や地域支援などに分けて、目標や支援内容の計画を立てています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・毎日ミーティングを行い、下校してから帰りまで、各部屋で何をするか等話し合いながら決めています。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・利用時間や児童の組み合わせを考えながら、楽しめる活動プログラムを取り入れています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		・計画の内容に沿って個別と集団の支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・毎日、利用する児童（担当する児童）の状況を話し合い、支援内容の個別やグループワークでの内容を決めています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・毎日お子さんが帰った後、フィードバックを行い変化が見られた事について共有を心がけています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・利用した際にはその日の記録や、共有事項など必ず記録をしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・年2回、定期的に見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		・発達段階に合わせた支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		・高学年は自分たちで活動のスケジュールを決めています。また、子ども達自身で行事計画書を作成し実現できるようにサポートしています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・児童発達責任者や担当職員が会議に参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		・主治医、保健師、学校との連携を行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		・保護者さんを通して下校時間の連絡や学校を通じて、送迎に行った際に先生とお子さんの状況を確認をしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		・移行会議を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		・最近では該当者がいませんが、過去には行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		・児童発達支援センター主催の研修に参加しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	・スポーツ教室やサッカースクールでは地域外からの参加があり子ども達同士交流をしています。	・今後も運動プログラムを通して、地域のお子さんと活動できる場を設けていきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		・定期的に参加し情報収集、共有をしています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・連絡帳やお迎えの際にその日の出来事や療育の様子について必ずフィードバックをしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		・ペアプロを実施し、利用されている保護者さん、地域の保護者さんに研修のお便りを配布しています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・契約時や変更があった際に説明をしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・年2回、保護者さんに意向を確認できるように個別面談を行い、お子さんとも面談を行う場合もあります。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		・必ず個別面談で内容の説明を行い、同意を求めています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・日ごろから保護者さんに声をかけ、必要に応じて面談をしています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	3	・保護者会はありませんが、事業所主催のクリスマス会で、保護者さんや兄弟の参加も可能としています。	・保護者会はありませんが、保護者さん同士の繋がりをつけていきたいと思っています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・苦情はありませんが、体制は整備されています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		・定期的にHPやFacebookなどで日々の活動の様子を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・日ごろから取り扱いについては気を付けるように確認をしています。またシュレッダーの活用や写真等に個人名が写らないように注意をしている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・口頭ではなく、書面にてお知らせするようにしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	・招待するまでは至っていませんが、地域の公民館を借りて行事を行っています。	・今後、地域の方を交えて何かの形で開催したいと思っています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・月1回のミーティングで訓練などを行い、活動の様子はHPに掲載しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・年2回、法人全体合同の避難訓練を含めて行っているいます。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		・保護者さんと確認をしながら、お薬手帳のコピーを頂いたり、連絡帳に服薬状況を記載の頂いています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	・現在該当がいいため、医師の指示まではありませんが、ご家族から聞き取りを行っています。	・今後も定期的に保護者さんからの聞き取りを行っています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		・避難訓練、送迎ルートの確認、外出先の危険箇所の確認を実施しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		・HPに掲載しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・その日のうちに全員で話し合い再発防止に努め、月1回行う全体ミーティングの場で共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・外部研修に参加し、全体ミーティングの場で共有をしています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1	・身体拘束を行うお子さんはいませんが、身体拘束三原則を全体ミーティングで定期的に読み上げ確認をしています。	・外部研修や内部研修の場を設け、職員全員で理解を図って行きます。